

令和6年度 事業報告

令和6年度は、未だ新型コロナウイルスの影響で、生活の困窮が続いている人、社会的に孤立する人も多く、生活課題が多様化、複雑化している状況の中、地域福祉推進の中核的機関として「互いに支え合い、安心して生活できる福祉のまち・篠栗づくり」を推進し、期待され、信頼される社会福祉協議会を目指し、次の3項目を重点目標に掲げて事業を展開してまいりました。①安心して生活できる地域福祉の構築 ②栗の子保育園の運営 ③運営基盤の強化の3項目です。

・地域福祉構築の柱である「地域サロン」は、高齢者の見守り、とじこもり防止、介護予防を目的に、福祉協力員、ボランティアを中心として、区長、民生委員・児童委員の方々の献身的な活動により、年間延べ876回、14,442人の参加があり地域福祉活動を推進しました。子育て支援事業の「子育てサロン」は、地域の協力により庄区・乙犬区・和田区の公民館で開催され親同士の交流や情報交換など成果を上げることができました。障がい者(児)支援事業の「すまいるサロン」は、障がい者(児)の余暇活動の場、家族の介護負担の軽減や介護者同士の交流の場として成果を上げることができました。

・ボランティア活動は、センターの登録が5団体、個人登録165人となり、徐々に活動が再開されています。活動支援の一環となるボランティア養成講座については、夏休み福祉体験教室等開催し、地域を支えるボランティア活動の担い手育成に努めました。

・篠栗・久山ファミリーサポートセンターについては会員数が330人となり、延べ518回の活動がありました。

・生活困窮者自立支援については、新型コロナウイルス感染症の影響により、コロナ禍前の生活に戻れない方からの困窮相談が増加し、その対応や緊急的な食糧支援等も実施しました。

・栗の子保育園の運営については、新型コロナウイルスやインフルエンザ等感染拡大防止対策に細心の注意を払い日々の保育を実施しました。

・運営基盤の柱となる会員制度と赤い羽根共同募金ですが、厳しい社会状況の中、各行政区の役員をはじめ関係の方々の精力的推進と町民の皆様の温かいご理解、ご協力により自主財源の確保を図ることができました。

・介護保険事業については、訪問型サービスAの生活援助を感染防止対策を行い実施しました。又、生活支援体制整備事業については、地域の福祉ニーズ調査や、地域福祉活動の担い手との交流、買い物支援等に取り組みました。

・収益事業の仏舎利殿管理運営事業については、合祀墓と併せて、利用者が安心して利用できるよう整備、維持管理に努めました。葬祭事業については、葬祭(登録)業者との連携を密にし、利用者ニーズに沿った効率的運営に努めました。

【主な事業の報告】

1 地域福祉の充実

(1) 地域サロン等活動

○ふれあい・いきいきサロン

延べ開催数 188回 延べ参加者5,196人

福祉協力員数(21行政区)196人

○おひさま活動

団体登録 15団体

延べ開催数 688回 延べ参加者9,246人

(2) ボランティア活動

○ 団体登録 5団体

個人登録 165人

延べ活動数 200回 延べ活動人数737人

○ 夏休み福祉体験教室 受講者31人 講座4回

ボランティア入門講座 受講者42人 講座2回

託児・子育てボランティア養成講座 受講者18人 講座3回

認知症サポーター養成講座

社会福祉協議会開催 受講者 35人 講座 2回

出前講座 受講者293人 講座2回

(3) 児童・少年福祉

○ 福祉教育教材の配付 小学校3校 301冊

○ 福祉文庫遊具の助成 児童館 3館

○ 子ども育成会へ助成

○ たのしい子育て講座 4回開催

○ おやこひろば 1回開催

○ 子育てサロン

庄 区サロン 12回開催

乙犬区サロン 10回開催

和田区サロン 12回開催

○ ぐりっこだよりの発行 年12回

○ 篠栗・久山ファミリーサポートセンターの運営

提供会員 45人 依頼会員253人 両方会員32人

活動実績 518件

○ 産後支援・家事援助に係わるホームヘルプサービス

利用者 月平均 3人

(4) 高齢者福祉

○ シニアクラブへの助成（老人クラブ活動・空き缶クリーン作戦）

○ マッサージ・鍼灸への助成 16人

○ 独居高齢者乳酸飲料配付 250人

○ 家事援助に係わるホームヘルプサービス

利用者 月平均3人

(5) 障害者福祉

○ 移送サービス 30件

○ 身体障害者手帳1級所持者歳末助成 98人

○ 療育手帳所持者歳末助成 106人

○ 精神障害者保健福祉手帳所持者歳末助成 103人

○ 身体障害者福祉協会へ助成

○ すまいるサロン 11回 計59組

○ ふれあいサデー 2回 計16組

（天候不良のため障害児者に配布のみ）

(6) 生活困窮者自立支援

○ 生活福祉資金貸付

福祉費 8件 緊急小口資金 20件 教育支援資金 15件

○ 困窮相談対応（食糧支援含む） 47件

(7) 一般福祉サービス

○ 赤い羽根ふれあいイベント（篠栗町文化祭参加）来場者1,000名

○ 心配ごと相談（毎月2回弁護士・司法書士・相談員）

○ 福祉バスの運行

○ 福祉用具の貸出

車イスの貸出 82台

ポータブルトイレ・介護用品等の貸出 21件

○ チャイルドシートの貸出 26件

○ 日常生活自立支援事業 5件

(8) 広報活動

○ 広報紙「社協だより」の発行 年12回

○ ホームページの拡充

2 運営基盤の強化

(1) 自主財源の確保

○ 会員制度の推進 6,259件

○ 共同募金運動の推進 10月～12月

- (2) 組織運営の充実
 - 理事会 3回開催
 - 評議員会 2回開催
- 3 介護保険事業
 - (1) 訪問型サービス A

利用者	月平均	28人
-----	-----	-----

 - ホームヘルパーの研修による資質向上
 - 利用者ニーズに沿ったサービス提供
 - (2) 生活支援体制整備事業
 - 篠栗町生活支援・介護予防協議体
 - 生活支援コーディネーター

(支え合い活動の推進、移動販売・買い物送迎サービスの実施等)
- 4 収益事業の充実強化
 - (1) 仏舎利殿管理運営事業
 - 春・秋法要 参拝者 秋50人 春110人
 - (2) 葬祭事業

葬儀件数	葬祭場葬儀	170件
------	-------	------

栗の子保育園

1 園児数

0歳	13人	1歳	23人	2歳	26人
3歳	33人	4歳	35人	5歳	39人
合計 169人					

2 年間行事

4月 入園式 進級式 内科検診 身体測定

5月 尿検査

6月 家族の日 地域のお年寄り・ボランティアとの交流
(園庭菜園)

7月 夏祭り プール遊び

8月 自然体験学習川遊び(ひまわり組) プール遊び

10月 運動会 内科検診 年長児社会体験学習(マリンワールド)

11月 ささりんピック(ひまわり組参加) 保育参観 3.4.5歳児実施
地域のお年寄り・ボランティアとの交流(園庭菜園収穫)

給食試食会 園外保育(和田神社など)

12月 生活発表会 クリスマス会

1月 歯科検診 尿検査 個人懇談
2月 節分 豆まき
3月 観劇会 ひな祭り お別れ会 卒園式 終了式
☆ 毎月 お楽しみ会 避難訓練 ☆ 毎日 園見学の受け入れ
☆ 毎週 園庭開放 中止

3 特別保育

- ・障がい児保育 13人(要支援児含む)
- ・延長保育 月平均 9.1人 延べ 2,660人